

ダイレクトロード「海辺の町」  
～防災教育教材として、学校における授業実施版～

By 岩手県立北上翔南高等学校 教諭  
いわて国際理解教育研究会  
ファシリテーター 吉田 武夫

## I 本教材について

1 神戸市消防局作成の防災シミュレーションゲーム「海辺の町」(ベーシックタイプ)を、ワークショップ教材として授業に使いやすいように、次の点を踏まえ手を加えたものである。なお、情報カード・地図・指示用紙・振り返り用紙は、オリジナルをそのまま使用する。

- ① 1 時限 50 分の区切りで実施できること。
- ② 指導者 1 名で実施できること。

2 本教材は発災時の状況をシミュレーションし、災害に対応した適切な行動を探るものであるが、『文部科学省：OECDにおける「キー・コンテンピシー」について』に照らし合わせれば、つぎのような能力を育てる教材となっている。

- 言語、シンボル、テキストを活用する能力
- 知識や情報を活用する能力
- 協調する能力
- 大局的に行動する能力

## II プログラムの流れ

※ 1の①は実施前の授業の時間(15分程度)を使い予め説明しておくといよい。実施当日に再確認すると、5分程度の説明で済ませることができる。採点表も回収しておくといよい。

### 1 時限目(50分)

#### 1 「海辺の町」実施

- ① 5名程度1班 各班にゲームセットを配付、下記のことを説明。 5分
  - 設定、地図により、ゲームのあらまし、決まりを説明する。
  - 活動結果には得点がつく。宣言書、指示書は作成後、提出されて得点になる。
  - 時間との闘いである。
  - 宣言、指示の中には一定の時間内に提出しないと0点、減点になるものがある。
  - 班名を決めさせ、宣言書、指示書、採点表に記入すること。採点表は回収する。

- ② ゲーム開始 「リングベル等で注意を促し、以下を指示する。」 45分

※ 宣言、指示書が提出されたらグループ名を確認し、**提出時間を採点表に記載**する。班ごとに提出場所を決めておくと、記名を忘れた班があっても取り違えをしづらい。

開始前：宣言書、指示書が提出されたことでその内容が実行されたと見なします。優先順位を考え、提出して下さい。なお各書に班名ももれなく書いて下さい。

5分後：青いカードは最初にすべきことを示しています。

15分後：井上さんに関する情報を持っている人は、その内容を仲間に伝えて下さい。

20分後：皆さんの持っている情報は全員に共有されました。ここからは全員でカードを見て結構です。

25分後：井上さんの自宅は、隣の家の火事の延焼で焼け落ちました。救出宣言、または消火指示のいずれも出ていない場合は残念なことに井上さんは死亡です。

30分後：確認します。最重要カードはNo24のカードです。このカードをよく見ると、誰の家がどこにあるかが分かるヒントになります。

45分後：時間です。全ての活動をやめて、全員高台に避難ということで今日の授業は終わります。

## 2 時限目 (50分)

### 2 採点と順位

#### ① 採点

10分

各班で相互採点。宣言書、指示書、採点表をひとまとめにして採点する班に渡す。  
採点表に従って、採点させる。なお、間違いはマイナス点として減点していく。

#### ② 得点発表、順位発表

5分

採点表を回収し、順位をつける。黒板等に表の形で、得点と順位を示すと良い。  
採点表、各書は実施した各班に返す。

### 3 振り返り

20分

#### ① 次の点について班ごとに話し合う。

- 配点の意味
- なぜクイズのようなカードが含まれているのか。
- 活動して分かったこと。
- 何が難しかったか。

#### ② 話し合ったことに各班に発表させる。

出た意見を、黒板等に取り上げていくと良い。

### 4 意見交換

5分

3①, ②を踏まえて、更に意見がないか発言させる。

### 5 振り返り用紙記入

10分

## III 準備品

- ・ゲームセット 各班分
- ・タイマー リングベル
- ・おもちゃマイク (うまく話せない生徒がいる時に使う。なくても良い。)

## IV 参考資料、使用教材等

### 1 神戸市消防局作成 災害対応シミュレーションゲーム「ダイレクトロード」

(<http://www.city.kobe.lg.jp/safety/fire/bousai/directroad.html>)

### 2 文科省 OECDにおける「キー・コンピテンシー」について

([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/siryo/attach/1395298.html](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/siryo/attach/1395298.html))

\*\*\*\*\* 解 答 \*\*\*\*\*

#### ○ 地図

A 1 : 山口      A 2 : 山本      A 3 : 藤原      A 4 : 吉田      A 5 : 藤井商店  
A 6 : まんぷく食堂  
B 6 : 中村      C 6 : 井上  
E 2 : 高橋商店      E 3 : 小林      E 4 : 大西      E 5 : 田中      E 6 : 山下  
F 1 : 防災倉庫

#### ○ 救出宣言

C 6 井上

#### ○ 消火指示

B 6 中村      E 2 高橋      A 4 吉田      消火器

#### ○ 救護指示

E 3 小林      A 1 山口      ラップ      E 4 大西      週刊誌  
A 6 まんぷく食堂      イス

#### ○ 救助指示

A 3 藤原      F 1 防災倉庫      バール      E 6 山下      百科事典

#### ○ 避難指示

A 5 藤井商店      メガホン

## 災害対応シミュレーションゲーム

# ダイレクトロード「海辺の町」

## 1 想定

ここは瀬戸内海に面した美しい海辺の町。

ある日、とうとう南海トラフ地震が発生し、この町にも大きな被害が出ています。すでに地震発生から15分が経過していますが、残念ながら外部からの救援隊の到着は期待できません。

皆さんは、消防隊員、消防団員として、それぞれが持ち寄った町の情報や知識を基に、周りにいる人たちと協力して、行動すべき事を宣言、指示として示し、さまざまな被害に対処してください。

なお、この町には、地震発生から80分で津波が到達すると予測されています。自分たちが避難する時間を考えると、活動できる時間は45分間です。

## 2 課題

- (1) 町の位置関係と被害状況を把握しながら、被害への対処方法を見つけてください。  
(地図への書き込みは可とします。)
- (2) 1つの宣言と4つの指示書を作成して、できるだけ早く提出して下さい。

## 3 約束

- 自分のカードは、他の人に見せてはいけません。  
但し、2、24、26、27のカードは、みんなで見てかまいません。  
なお、カードを折ったり、カードに書き込みはしないで下さい。
- 見せてはいけないカードに書かれてある情報は、全て言葉にして口頭で伝えてください。
- カードの情報をそのまま書き写したり、一覧表を作ってはいけません。

# 救出宣言

私たちは、

座標

名前

\_\_\_\_\_ の \_\_\_\_\_ さんを介助して、  
例 A1E5

安全な場所に避難させました。

チーム名「 \_\_\_\_\_ 」

班員名

○

○

○

○

○

○

# 採点表 チーム名「 \_\_\_\_\_ 」 順位「 \_\_\_\_\_ 」

宣言・指示名	救出	消火	救護	救助	避難
時間	:	:	:	:	:
得点	10 or 0	10 or -10	10 or 0	10 or 0	10 or -10
間違い					
減点					
獲得点 得点+ (-減点)					
合計点					点

※ 配点

- 1 各宣言・指示書 10点 満点50点
- 2 間違い1つで-2点
- 3 「救出」は1つでも間違えば0点、
- 4 「消火」は25分以内にでない場合、及び1つでも間違えば-10点
- 5 「救出」、「消火」が25分以内に両方ともでない場合は、  
間違いがなくても「救出」は0点  
※一点でない「消火」が出ていれば、「救出」は制限時間（ゲーム終了）以内に出れば得点になる
- 6 「救護」、「救助」が制限時間内にでない場合は0点
- 7 「避難」が制限時間内にでない場合は-10点